

沖縄県立図書館 通信

3月号



今月のイベント

アメリカの学校担当者による留学説明会

コミュニティカレッジへの留学

3/10(金)
16:00～

ハワイ大学カピオラコミュニティカレッジのMiyagi氏がカレッジについて説明します。

対象：米国留学を考えている方、保護者、学校関係者
場所：4F交流ルーム

参加無料 要予約

ニュース記事を見ながら英語で会話をしよう！

ENGLISH CONNECTION



3/12(日)
14:00～

対象：積極的に英会話に参加できる高校生以上の方
開催日：12月まで毎月
第2日曜日 14時～開催
場所：4F交流ルーム

参加無料 要予約

地震や津波被害から学ぶ

3/11(土)
16:00～

東日本大震災から12年…地震・津波の恐ろしさを風化させないために、今一度、学習しましょう。どうして日本は地震が多いの？沖縄はどうなの？津波の恐ろしさって？沖縄気象台職員が詳しく解説します。

参加無料 要予約



県立図書館3階ホール
定員：50名
申込：図書館カウンター
GoogleForms



3/1～3/27
沖縄気象台による企画展示
も3Fにて開催中！

映画「まぶいぐみ

～ニューカレドニア引き裂かれた移民史～

収蔵記念 上映会 & トークショー

3/12(日)

上映会：
13:00～15:00

トークショー：
15:10～16:10

ニューカレドニアの移民の歴史を追い、引き裂かれた家族のその後を紹介するドキュメンタリー映画「まぶいぐみ」。当館での収蔵を記念して、原作者の三木健氏と監督の本郷義明氏をお迎えし、映画上映とトークショーを行います。

場所：3Fホール

参加無料

対談

宮沢和史・平田大一

「唄方～沖縄の音を未来につなぐ～」

3/20(月)
18:00～

参加無料
要予約

場所：3Fホール

宮沢和史さんが手がけた「音の教科書」『唄方』。この度テキストブックの改訂版を寄贈いただいたことを機に、ご一緒に活動されている平田大一さんと「唄方」への思いと沖縄の音楽の未来について語っていただきます。



歴史的音源とは

歴史的音盤アーカイブ推進協議会(HiRAC)がデジタル化した、1900年初頭から1950年頃までに国内で製造されたSP盤及び金属原盤等に収録された音楽・演説等の音源です。

国立国会図書館との連携により、約5万点の音源を聴くことができます。

3/15
(水)

歴史的音源の配信スタート！

画像：SPLレコード「夕日」（室崎琴月作曲）高岡市立博物館蔵

3月の展示

場所	期間	タイトル	内容	主催団体
5F	1/25 ～	沖縄県立博物館・美術館 万国津梁の鐘プロジェクト	県立博物館・美術館が手がける「万国津梁の鐘プロジェクト」の関連図書や、鐘の銘文拓本を展示しています。	沖縄県立図書館
	2/22 ～	唄方プロジェクト	平田大一氏・宮沢和史氏が手がけた音の教科書『唄方』テキストブック改訂版が刊行されました。唄方プロジェクト概要や関係図書を紹介します。	沖縄県立図書館
	2/22 ～3/13	伊波普猷賞からみる沖縄学研究的のあゆみ	すぐれた沖縄研究の著作に与えられる「伊波普猷賞（沖縄タイムス社）」が、2022年で50回を迎えました。50年間の受賞作をふりかえる展示です。	沖縄タイムス社
	3/1 ～3/13	令和4年度新収蔵資料展	2022年度に新たに収蔵された郷土資料を展示します。	沖縄県立図書館
	3/15 ～4/10	「リメンバリング オキナワ 沖縄島 定点探訪」特集	写真家・岡本尚文氏と映画監督・當間早志氏が手がけた、かつて／いまの沖縄を定点比較する本『リメンバリング オキナワ』を紹介します。	沖縄県立図書館
	3/15 ～4/10	歴史的音源配信サービス紹介	3/15開始の配信サービス「歴史的音源」を紹介します。 1900年～1950年ごろの古い音源（約5万点）を図書館で聴くことができます。	沖縄県立図書館
	3/15 ～4/17	県外に残る琉球王国のあしあと	沖縄県外に残されている琉球王国の足跡を紹介・展示します。	沖縄県立図書館
4F	通 年	コロナ特集	コロナの時代に適応し、より良く生き抜くためのヒントやビジネスに役立つ本を展示します。	沖縄県立図書館
	3/1 ～3/13	国際女性デー	3月8日の国際女性デーにちなみ、ジェンダー平等や女性の生き方に関する本を紹介しします。	沖縄県立図書館
	3/15 ～4/10	新入社員応援 展示	この春、新入社員となった方たちに向けて、ビジネスや新生活で役立つ本を紹介しします。	沖縄県立図書館
3F	通 年	沖縄県立博物館・美術館 情報コーナー	沖縄県立博物館・美術館に関する情報発信コーナー	沖縄県立 博物館・美術館
	通 年	沖縄らしい SDGs 展示	3月テーマ：世界の島しょ地域における技術・経験の共有と国際貢献・グローバル・パートナーシップ	沖縄県立図書館
	2/15 ～3/6	ミニチュアの日 小さな世界展示	3月2日のミニチュアの日になみ、小さな本やミニチュアに関する本を集めました。	沖縄県立図書館
	2/22 ～3/6	JTA/RAC あおぞら図画コンクール 入賞者移動展示会	第40回JTA/RAC あおぞら図画コンクール入賞作品を展示します。	日本トランスオーシャン 航空株式会社
	2/22 ～3/13	人も動物も幸せになるために 私たちが できること ～地域猫活動のススメ～	2月22日に行う地域猫活動に関する講演会に合わせ、動物愛護に関する展示を行います。	沖縄県立図書館
	2/22 ～3/13	性の多様性に関する理解促進に向けた 啓発展示	性の多様性に関する絵本や紙芝居、リーフレット等を展示し、「沖縄県性の多様性尊重宣言」や「LGBTQにじいる相談」の周知を図ります。	沖縄県 女性力・平和推進課
	3/1 ～3/13	健康医療 アレルギー展示	春によく聞く花粉症や、食物アレルギー、ハウスダストなど、アレルギーに関する展示を行います。	沖縄県立図書館
	3/1 ～3/13	女性の健康週間	3月1～8日の女性の健康週間に合わせ、女性の健康に関する知識の向上を図るためのパネル展示およびリーフレットの配布を行います。	沖縄県健康長寿課
	3/1 ～3/27	地震や津波被害から学ぶ (東日本大震災から12年)	東日本大震災から12年目にあたる3月11日に合わせ、地震・津波に関する知識、気象庁が発表する情報など地震・津波防災に関する展示を行います。	沖縄気象台
	3/8 ～3/27	うみびらき 展示	今年も「うみびらき」の季節がやってきました。図書館でも海に関する本を紹介しします。	沖縄県立図書館
	3/8 ～3/27	男女共同参画デジタルフォトコンテスト 入賞作品展	男性の家事・育児参画促進に向けた取組として開催した「令和4年度男女共同参画デジタルフォトコンテスト」の入賞作品を展示します。	沖縄県 女性力・平和推進課
	3/15 ～3/27	昭和から令和への国語教科書展 ～思い出の作品を集めて～	昭和から令和の時代の小学校・中学校国語教科書を時代順に紹介します。	光村図書出版株式会社
	3/15 ～4/10	健康医療 歯の健康	虫歯や歯周病、噛む力など歯の健康に関する展示を行います。	沖縄県立図書館

わらびんちゃーだより 3月のおすすめ本

だんだんと暖かい日が増えてきましたね。
ぽかぽかといいいお天気の日を外をさんぽしてみるのはどうでしょう？
今月はおさんぽの本を紹介します。

『ばあばとおさんぽ』

はし みさお／文

二木 ちかこ／絵

文芸社



朝、小鳥がみーんな電線にとまってる。お花がきれいに咲いて、お空には飛行機が。ピンのバスの運転手さんは、手を振ってくれて…。2歳のみいちゃんとはあばのおさんぽは、毎日が夢物語。おさんぽの楽しさを描いた絵本。

資料ID:1009600949

『おさんぽだいすき』

いまむら あしこ／ぶん

たるいし まこ／え

ほるが出版



おさんぽいくよ。ひとりでいくよ。おっとことっと、つまずいた。おててをついたら、とんねるできた。毎日のお散歩の様子をリズムカルな言葉とあたたかいタッチの絵で描く、赤ちゃんとお母さんとのぬくもりを育む絵本。

資料ID:1004218853

新着図書紹介

県立図書館に新たに入ってきた本の一部をご紹介します。
本の場合について不明な点があれば、カウンター職員にお尋ねください。

新着本は毎週水曜日に、
新着図書コーナー
(3階展示エリア) で公開中です！



一般図書

親子で野球上達の極意
うまくなるヒント・心技体
&みんなで学べるプロの思考
立浪 和義／著
野村 弘樹／著
カネシゲ タカシ／絵

スポーツとLGBTQ+ シスジェン
ダー男性優位文化の周縁
岡田 桂[ほか]／著
山口 理恵子／著
稲葉 佳奈子／著

しゃべらなくても楽しい!! シニアの
立っても座ってもできる運動不足
解消健康体操50
斎藤 道雄／著

ビジネスと人生に効く
教養としてのチャップリン
大野 裕之／著

アバターワーク メタバースが
生み出す時間、場所、身体から
解放された働き方
往来／著

超一流諜報員の頭の回転が速く
なるダークスキル
仕事で使える5つの極秘技術
上田 篤盛／著

あんこのお花練習帖
可愛いお花しばり
末廣 由香里／著

仕事と人生に効く
教養としての紅茶
藤枝 理子／著

心とからだ元気になる
鉄分レシピ
小田 真規子／著、
溝口 徹／監修

読むだけで心と体が元気に
なっちゃう漢方養生の本
ロン毛メガネ／著

私ならではの方向に、
私ならではのスピードで。
チョン ミリョン／著
生田 美保／訳

女のイイ顔 田辺聖子のエッセイ
田辺 聖子／著

子どもの本

おやこ ふくかわ ゆめみ／[作]

うさぎのさとうくんあさひ 相野谷 由起／さく

ようかいむらのゆけゆけゆきがっ
せん たかい よしかず／作・絵

昆虫変態図鑑
生きかたイロイロ！
川邊 透／著
前畑 真実／著

紙ヒコーキで遊ぼう！飾ろう！ 戸田 拓夫／著

はじめての動物地理学
なぜ北海道にヒグマで、
本州はツキノワグマなの？
増田 隆一／著

おきなわの本



アジアを歩く 沖縄を思う 嘉数 昇明／著

伊礼智の住宅デザイン学校：
10人の建築家が教える設計の
上達法
伊礼 智[ほか]／[著]

大島高校野球部の軌跡 政 純一郎／著

島守の塔 映画ノベライズ
田村 洋三／原作
映画「島守の塔」製作委員
会／著

沖縄戦火の放送局：軍隊に
飲み込まれたラジオ
渡辺 考／著

るるぶ沖縄 '24

3月のおはなし会

場所：県立図書館3階 **おはなしの森** だれでも無料で参加できます。
時間：**10:30**～(約30分)

16日
(木) 定例おはなし会

23日
(木) 英語でおはなし会



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2歳以上のお子様はできるだけマスク着用の上でご参加ください。
また、状況に応じて開催人数を制限させていただくこともございます。ご理解とご協力をお願いいたします。





沖縄何でもQ&A

このコーナーでは沖縄県立図書館に寄せられたお問い合わせ（調査・相談、レファレンス）の一部をご紹介します。
今月は・・・

A. 平敷屋朝敏は組踊「手水の縁」の作者としてよく知られていますが、和文学者としての顔も持ち『若草物語』や『苔の下』などの作品を記しています。他には和歌や琉歌も残されており、沖縄三十六歌仙のひとりにも名前が挙げられています。

朝敏は1700（尚貞32）年に弥霸親雲上朝文（ねはパーちんちょうぶん）の長男として生まれますが、朝敏が6歳のときに朝文が亡くなったことから主に母の手によって養育されたと考えられています。母方の祖父は当時有名な和文学者として知られていた屋良宣易（せんえき）でした。この祖父のもとで朝敏は和文学を学び、将来にも大きな影響を与えたのではないかと考えられます。

その後朝敏は年齢を重ねていく中で上述した「手水の縁」などの作品を発表していきますが、1734（尚敬22）年に王府を揺るがす大事件に巻き込まれていきます。それが現在「平敷屋・友寄事件」として伝わっている政治事件です。「国家の御難題」を企てたとして首謀者とされた朝敏や友寄安乗（あんじょう）は八付（はつつけ、はりつけ）、事件に加担したその他の者も斬首や流罪に処せられたとされています。ところが王府の公的な文書には事件についての記録がなく、関係者の家譜からわずかにうかがい知ることができるのみで、その詳細については現代においても謎のままとなっています。

朝敏が処刑された場所については、主に「安謝港（もしくは安謝湊）」ということが知られています。より詳細な場所について資料を調べると、かつて「義理地原（ぎりちばる）」と呼ばれていた区域に処刑場が存在していたことがわかります。ここには戦後、1970年前後まで安謝劇場が

Q. 組踊「手水の縁」の作者として知られる平敷屋朝敏は処刑されたと聞いた。その場所について詳細がわかる資料はあるか。 No. 137（郷土資料レファレンス事例）

存在しており、その背後にあった高台のあたり、現在の恵比寿神社がある場所が処刑場だったとされています。この周辺は1960年頃まではすぐ近くが海でしたが、その後の埋め立てによって大きく地形が変わりその頃の面影を感じることは難しくなっています。

【参考文献】

- 『沖縄大百科事典 下 ナ～ン』（沖縄大百科事典刊行事務局／編 沖縄タイムス社 1983(昭和58).5) p421
『安謝誌』（安謝誌編集委員会／編 安謝誌編集委員会 2010.12）p3、p115
『沖縄県の地名』（平凡社地方資料センター／編 平凡社 2002.12）p173「安謝村」
『平敷屋朝敏 歴史に消された真実の行方』（比嘉 加津夫／著 脈発行所 2019(令和1).9) p154、p365-366
『真和志市誌』（新垣 清輝／著 真和志市役所 1956.2）p43-44「（七）安謝村」、p54「ギリチ原」
『那覇の民俗編集ニュース 1975-78年(昭和50-53年)[複製本] 1-28, 30』（那覇市企画部市史編集室／編 沖縄県立図書館 2012.3）「那覇の民俗編集ニュース No.27」p2「3 安謝川、処刑場」
『琉球学集説 [マイクロ複製] 88～90（昭和51年～昭和53年）』（[天野 鉄夫／編] 沖縄県立図書館 [1999(平成11).3]）p31「思い出のわが町 安謝」
『那覇今昔の焦点』（那覇市企画部文化振興課／編集 沖縄文教出版 1971.8）p226「安謝」
『沖縄タイムス(原紙) 平成25年10月16日～31日』（沖縄タイムス社 2013.10）2013（平成25）年10月27日付朝刊4面「[寄稿] 組踊「銘苅子」村の伝説題材」

利用案内

開館時間：9時～20時（火曜・年末年始・特別整理日休館）
休館日：毎週火曜日、年末年始、特別整理期間
※図書館専用の無料駐車場はございません。
お車でお越しの際は、周辺の有料駐車場をご利用ください。



来館される皆様へのお願い

- 館内では、マスク着用のご協力をお願いしております。
- 館内では飲食禁止です。飴・ガム・チョコレートなども持ち込みはお断りしています。倒れても、中身がこぼれない容器に入れた飲み物は持ち込みが可能です。
- 携帯電話やスマートフォンはマナーモードに設定し、通話は4階・5階にある館内電話ボックスをご利用ください。
- 館内は撮影禁止です。撮影はお控えください。



令和5年(2023年)3月発行 第171号
〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1-20-1 カフーナ旭橋A街区
TEL：098-894-5858（代表）

沖縄県立図書館



図書館カレンダー 3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

■ は休館日

HP

スマートフォン

twitter

facebook

